

一人が始めなければ何も生まれない

## 沼田 惠範



国内外のホテルに必ずキリスト教の聖書せいしょが<sup>せ</sup>おいてあり、信者は旅の一夜を聖書とともに心静かに過ごします。同様に仏教の聖典もおかれているホテルも増えていることに、お気付きかたの方も多いでしょう。キリスト教の聖書の場合、ギデオンの協会という団体が、明治から今日まで、日本だけでも二億冊を配布しているとのことです。仏教聖典の場合、だれが思い立ち、寄贈を始めたのか、意外に知られていません。それを一人で始めたのが、沼田惠範という人物であります。

沼田惠範は明治三十年（一八九七年）広島県のお寺の子として生まれ、大正五年渡米、苦勞しながらカリフォルニア大学バークレー校大学院を卒業します。勉

強とアルバイトを両立させるため、一日四時間しか眠らない生活の中で、日本の精神文化をアメリカに、西欧に、世界に伝えたいと強い志を抱きます。

統計学を専攻した彼は、帰国して内閣資源局に勤めますが、四年間で役人を辞め、精密測定機器製作の会社を創業。試行錯誤の日々を続けながら国産初のマイクローメーターを完成させました。順境も逆境もありましたが、三豊製作所（現株ミットヨ）は敗戦の痛手も克服、創業から五十年にして世界のミットヨに躍進したのです。

### ミットヨの社員の基本姿勢

一、古きが故に尊ゆえきに非あらず、会社草創苦難そうそうの時代を共にし、今日の発展に寄与せられたからである。

二、新しいからとて遠慮はいらない。また新しいからとて良いのでもない。どれほど会社の発展に役立つかである。

三、古い伝統を守り、新しい改善をとり入れて、古きと新しさとが調和してこ

そ、真のゆるぎなき発展がある。

昭和四十一年十一月吉日

社長 沼田 惠範

人のため、社会のため、国のためになり、なおかつ儲かる仕事もうという、彼の初心は立派に実現し、個人で始めた仏教聖典の配布は、今や仏教伝道協会の事業として、国内外に八百万冊以上が普及しました。その他、大蔵経だいぞうきょうの英訳や各国の主要大学に「仏教講座」を開設等、惠範の志は世界に生き続けています。

※沼田 惠範（ぬまた えはん・平成六年（一九九四年）没・九十七歳）

◎ ミットヨさんの本社や各支店で開催される「祖先祭」で講演をさせていただきます。ただいたわいそことがあります。厳おひそかな雰囲気の中の祭典に日本にもこんなに「立派な会社」があると感激をしました。

◎ ミットヨ社員の基本姿勢そのものが、大切な教えであると共感し、タニサケでも参考にしていきます。

（M生）